

日本における看護師不足の実態

看護師不足の原因

* 看護師の高い離職率

看護師は女性の多い職場なので、結婚・出産・子育てによる離職率が高い傾向にあります。そのため、育児や家事と両立しながらの勤務が難しくなったり、育児休暇後に復帰を考えても技術の早い医療現場ではたった数年離れていても追いつかない傾向にあるのでそのまま離職してしまうケースが多いのです。そして看護師は他の職種と違い入院設備のある病院では夜勤が必要になります。夜勤による不規則な生活、看護師不足による激務長時間労働などの結果、看護師が辞めていく悪循環が高い離職率を生み出しています。

看護師の離職理由のグラフは

看護師の離職理由



↑このようになっています。(厚生労働省看護職員就業状況等実態調査結果より)

* 離職率の算出方法

常任看護師離職率 (%)

$$= \frac{\text{その年度の総退職者数}}{\text{常勤看護師の数}} \times 100$$

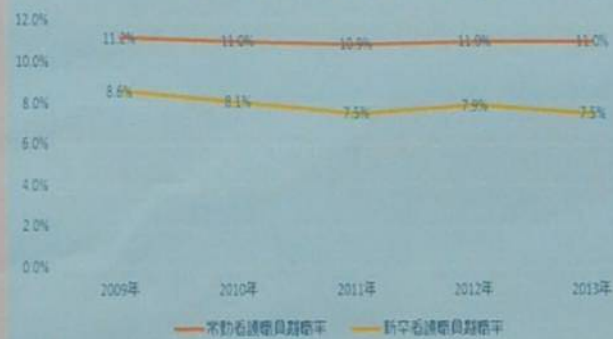
新卒看護師離職率 (%)

$$= \frac{\text{その年度の総退職者数}}{\text{新卒採用者数}} \times 100$$



この方法で算出したデータを
グラフに表すと...

病院看護職員の離職率の推移(過去5年間)



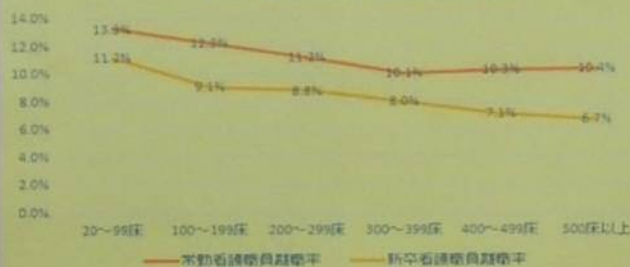
↑このようになっています。(メディ・ウォッチ medwatch.jp より)

* 離職率の高い病院とは??

逆に国立病院機構や国立大学法人、都道府県や地方組合などの公的医療機関や規模の多い医療機関は離職率が低い傾向のようです。

病床規模別で見ると、

病床規模別看護職員離職率



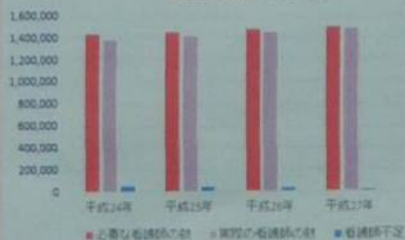
(看護師あるある j-depo.com より)

となります。

大学病院などの大規模病院では、教育制度や研修制度が充実している、育児休暇がとれる、保育所がある、給与面でも充実しているといった細かい所までに配慮されている施設が多いということが要因として考えられます。

* 看護師数の現状

看護師不足(予想)



(深刻化する看護師不足 highschooltimes.jp より)

毎年2月に行われる看護師の国家試験で、毎年約5万人が合格し、その多くが医療現場で働いているにも関わらず、看護師不足が指摘され社会問題化しています。

実際に看護師はどのくらい不足しているのでしょうか。

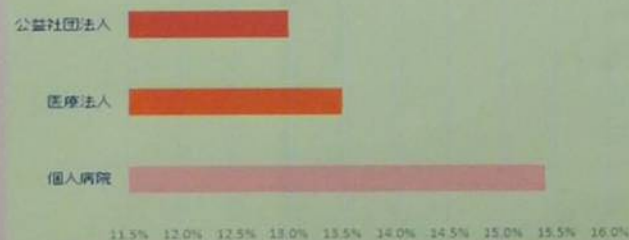
厚生労働省がまとめた看護師の供給見通しでは、2011年は5万6,000人、2012年は5万1,500人、2013年は4万2,400人、2014年は2万9,500人不足し、来年は1万4,900人不足すると予測しています。

そして、2025年には最大約20万人が不足すると推定されています。

その大きな要因は、看護師の過酷な労働環境と厳しくなる病院経営に起因していると考えられています。

設置主体別の離職率は

設置主体別の離職率



個人病院が15.4%、医療法人が13.5%、公益社団法人が13.0%となっています。(看護師あるある j-depo.com より)

感想

私の将来の夢である看護師について調べることができて、とても楽しかったです。そして、看護師になりたいという人はよく聞くのに看護師不足である現状を初めて知りました。看護師という職業はとても大変な仕事であることを改めて考えさせられました。この統計グラフで調べたことが将来役に立てばいいなと思います。